

下水道施設建設工事の品質向上に役立つ 処理場施設(土木建築)の施工管理の実務

全国土木施工管理技士会連合会 継続教育「CPDS」プログラム認定

1. 研修対象者

①JSの土木建築工事を受注している建設会社等で、現場代理人、監理技術者、主任技術者又は主任監督員等(以下『監理技術者等』という。)をお務めの方もしくはその予定の方。
②現在、JSに登録されている土木建築工事の登録建設会社において、監理技術者等の資格をお持ちの方。
2. 研修目標

品質法の施行に伴い、従来の価格競争型入札契約から、安全かつ品質の向上に係る技術提案を求める総合評価方式の導入が進み、民間企業及び技術者の技術力が強く求められている。
本研修では、実績等に基づくJS独自のノウハウを提供することにより、良質な出来形及び施工管理に努め、質の高い工事目的物の完成を目指した施工管理技術を短期間で習得することを目的とする。
3. 研修内容

受注者に求められる工事目的物の品質、性能の向上はもちろんのこと、施工計画書及び工事完成図書作成並びに施工管理写真の撮影及び編集等、広く細部に渡り技術知識等を習得するため、JSが独自に策定している仕様書及び施工指針等の内容及び改訂のポイント等について説明する。
更に、それらに基づく出来形管理、品質管理、安全管理、写真管理、段階確認の方法等について、不具合等の事例を踏まえた良質な施工例並びに完成検査等の指摘を踏まえた重点課題等についてわかりやすく解説する。
4. 実施時期 平成26年6月5日(木)～6月6日(金)
5. 実施期間 2日間
6. 募集人員 20名
7. 実施場所 日本下水道事業団 研修センター
埼玉県戸田市下笹目5141
8. 受講料 60,000円
費用につきましては、全て銀行振り込みとなります。(決定通知に請求書を同封)
9. 申込み期限 平成26年4月22日(火) 5月9日(金)まで延長しました。
10. 修了書 効果測定を合格した方に、後日「修了書」と全国土木施工管理技士連合会継続教育プログラム(CPDS)受講証明書を交付します。
効果測定不合格者にはレポート提出を求め、再判定を行います。
11. 研修修了者の特典

①研修修了者は「日本下水道事業団の参加資格申請書の技術者経歴書」に本研修を修了した旨を明記することが可能となります。
②工事施工年度もしくは契約年度前1年以内に、本研修を受講した者が現場代理人又は監理技術者として選任され、所定の要件を満足した場合、工事成績評定点の加点要素となります。

【留意事項】

- ①研修期間中、監理技術者が現場を離れることについて
建設業法においては、監理技術者等は、『専任(常駐)』することとされていますが、本研修は、JSの安全協議会活動の一環として実施するものであることなどから、本研修への参加が同法に抵触するものではありません。
なお、監理技術者等の現場離席期間中の安全管理体制及び施工監理体制等については、請負者の責任において行うこととし、事前に監督職員に「離席届」を提出願います。
- ②遠方の方は、当研修センターに宿泊が可能です。
- ③通勤による受講者は、別途550円/日の昼食代が必要となります。

12. カリキュラム(案)

研修日	講義時間	教科名	内容
1日目	10:00 ~ 10:15	オリエンテーション	連絡事項
	10:20 ~ 11:50	・JSの契約図書及び各種様式 ・出来形及び品質管理の方針 ・一般仕様書の主な改定事項	契約図書の確認、各種提出書類の解説及び契約方式による施工管理方法の解説 品質法、JSの土木建築工事における施工管理方針について解説 一般仕様書の最新版の紹介
	13:00 ~ 15:20	(土木) ・施工計画書の作成 ・品質管理における段階確認と確認検査 ・防災計画の策定 ・電子納品 ・工事成績評定	JS工事における施工管理等について、 <u>施工計画書の作成、写真の管理等</u> について作成例により解説。 施工の各段階における品質管理計画及び品質管理確認表について解説 仕様書に基づく現場での防災計画の策定と、災害発生時の対応について解説 JSにおける完成図書の納品方法について解説 JS工事の評定の意義等について解説
15:30 ~ 17:30	(土木) ・土木工事施工時の留意点 ・ひび割れ対策、防食塗装工事の留意点	土木施工全般、特にコンクリートの材料、打設、養生に関する工夫、コンクリートのひび割れ防止対策及び防食塗装工事時の留意点について解説	
2日目	9:30 ~ 10:55	(建築) ・建築基準法と下水道施設 ・建築工事における品質管理	建築基準法が改正され、建築工事の他、一体構造物としての土木工事についても、基準法上の監理確認が従前に比べてより厳格に適用されることになった。改正の留意点について解説。 処理場建築は、一般の建築工事と異なる注意すべき点がある。施工管理と品質管理方針を通して解説
	11:05 ~ 12:30	(建築) ・施工計画書の作成 ・段階確認及び確認検査 ・建築設備概論	各工種の <u>施工計画書の作成、写真の管理等</u> 及びそれぞれの留意点について解説 施工の各段階における材料・施工等の品質管理計画及び管理項目の設定及び管理基準値、確認方法について解説 下水道施設の建築設備について留意点等を解説
	13:30 ~ 15:30	・完成検査指摘事項 ・不具合事例と重点課題 ・事故時の対応及び事例紹介	完成検査時における指摘事項について解説 下水道施設の機能的留意点と他工事との調整などの不具合事例と重点課題をとおしての解消方法を解説 労災事故発生時の対応と事故事例、安全を確保するための仮設備等、安全教育、技術向上講習会、安全パトロール等について解説
	15:45 ~ 17:15	効果測定	授業内容の理解度を測るため効果測定を行います。

13. 申し込み・問い合わせ先

「研修申込み書」を下記あて郵送又はFAXしてください。また、JSの土木建築工事を受注している建設会社の方は、研修申込み書の写しと「離席届」を、JS監督員に提出してください。

研修申込み書は当事業団ホームページからもダウンロードできます(<http://www.jswa.go.jp/>)。なお、本講座は、WEB登録フォームに対応しておりませんので、ご了承ください。

〒335-0037 埼玉県戸田市下笹目5141

日本下水道事業団 研修センター 研修企画課

TEL 048-421-2692 FAX 048-422-3326

※応募上のご注意もご覧ください。

※FAX送信のお間違えが大変増えております。送信の際は、今一度ご確認をお願いいたします。

下水道施設建設工事の品質向上に役立つ
処理場施設(機械設備)の施工管理の実務
全国土木施工管理技士会連合会継続教育「CPDS」プログラム認定

1. 研修対象者 ① JSの機械設備工事を受注しているメーカー等で、現場代理人、監理技術者、主任技術者等(以下『監理技術者等』という。)をお務めの方もしくはその予定の方。
② 現在、JSに登録されている機械設備工事の登録メーカー等において、監理技術者等の資格をお持ちの方。
2. 研修目標 品確法の施行に伴い、従来の価格競争型入札契約から、安全且つ品質の向上に係る技術提案を求める総合評価方式の導入が進む中、民間企業及び技術者の技術力が強く求められている。
本研修では、実績に基づくJS独自のノウハウを提供することにより、質の高い工事目的物の完成を目指した施工管理技術を短期間で習得することを目的とする。
3. 研修内容 受注者に求められる工事目的物の品質、性能の向上はもちろんのこと施工計画書及び工事完成図書作成並びに施工管理写真の撮影及び編集等、広く細部に渡り技術知識等を習得するため、JSが独自に策定している仕様書及び施工指針等の内容及び改訂のポイント等について説明する。
更に、それらに基づく出来形管理、品質管理、安全管理、写真管理、段階確認、総合試運転等について、災害・事故、不具合等の事例を踏まえたフィードバックの方法や良質な施工例並びに完成検査等の指摘を踏まえた重点課題等についてわかりやすく解説する。
4. 実施時期 **【東京会場】 平成26年4月24日(木)～平成26年4月25日(金)**
…JS北海道総合事務所、東北総合事務所、関東・北陸総合事務所、東海総合事務所管内の工事を対象
【大阪会場】 平成26年5月15日(木)～平成26年5月16日(金)
…JS近畿・中国総合事務所、四国総合事務所、九州総合事務所管内の工事を対象
5. 実施期間 2日間
6. 募集人員 各回20名
7. 実施場所 **【東京会場】 日本下水道事業団 研修センター**
埼玉県戸田市下笹目5141
【大阪会場】 新大阪丸ビル 新館405号室
大阪市東淀川区東中島1丁目18番27号
8. 受講料 60,000円
費用につきましては、全て銀行振り込みとなります。(決定通知に請求書を同封)
9. 申込み期限 平成26年4月4日(金)
10. 修了書 効果測定を合格した方に、後日「修了書」と全国土木施工管理技士連合会継続教育プログラム(CPDS)受講証明書を交付します。
効果測定不合格者にはレポート提出を求め、再判定を行います。
11. 研修修了者の特典 ①研修修了者は「日本下水道事業団の参加資格申請書の技術者経歴書」に本研修を修了した旨を明記することが可能となります。
②工事施工年度もしくは契約年度前1年以内に、本研修を受講した者が現場代理人又は監理技術者として選任され、所定の要件を満足した場合、工事成績評定点の加点要素となります。

【留意事項】

- ①研修期間中、監理技術者等が現場を離れることについて
建設業法においては、監理技術者等は、『専任(常駐)』することとされていますが、本研修は、JSの安全協議会活動の一環として実施するものであることなどから、本研修への参加が同法に抵触するものではありません。
なお、監理技術者等の現場離席期間中の安全管理体制及び施工監理体制等については、請負者の責任において行うこととし、事前に監督職員に「離席届」を提出願います。
- ②大阪会場では、設定宿舎はございません。近隣のビジネスホテル等をご利用下さい。
- ③[東京会場のみ]遠方の方は、当研修センターに宿泊が可能です。
また、通勤による受講者は、別途550円/日の昼食代が必要となります。

12. カリキュラム

研修日	講義時間	教科名	内容
1 日 目	9:10 ~ 9:20	オリエンテーション	連絡事項
	9:30 ~ 11:00	JSの契約図書及び各種様式	契約図書の文書による甲乙確認項目(仕様、能力等)、一般仕様書共通事項と各種建設関連法規の解説、各種提出書類の解説
	11:10 ~ 12:40	下水道機械設備工事における安全衛生管理	一般仕様書に定める安全衛生管理及び防災計画と安衛法、機械設備工事における事故事例、現場に応じた施工段階毎の安全管理、部材並びに機材等の運搬、搬入及び搬出方式、安全を確保するための仮設備、安全教育、技術向上講習会、安全パトロール、事故時の対応について解説。瑕疵担保責任について解説
	13:30 ~ 15:00	下水道機械設備の出来形及び品質管理のポイント	品確法、JS一般仕様書及び施工管理指針の解説。機械設備の出来形又は品質の計測、集計等について解説
	15:10 ~ 17:00	下水道機械設備工事の段階確認及び検査と工程管理	搬入、据付・各種施工、試運転の各段階における材料・機器等の品質管理計画及び管理項目の設定、管理基準値、確認方法(臨場、電子メール等)、確認頻度等及び工程管理の方法について解説。
2 日 目	9:10 ~ 10:30	コンクリート構造物の防食塗装に係る品質管理及び施工管理のポイント	沈砂池、ポンプ井、濃縮槽、汚泥貯留槽設備等の機械設備の改築更新時に、機械設備工事で防食塗装を実施するケースが多々あり、防食塗装の品質保証期間10年以上を確保するためには、既設コンクリートの劣化状況の確認、下地処理、防食塗装等確実な品質、施工管理を行う必要がある。本講義では、JSの防食指針に基づき、施工事例を用いて品質、施工管理のポイントについて解説する。
	10:40 ~ 12:10	下水道機械設備工事の施工計画書の作成	機械設備ごとの施工方法、品質管理、施工管理、写真管理、安全管理等及び設備工事における加工や組立、改築更新工事の留意点(仮設計画、維持管理との調整など)及び施工計画書の作成に関する工夫について解説。
	13:00 ~ 14:30	下水道機械設備工事の写真管理	●工場製作段階における写真管理 機器承諾図に基づいた写真管理及び工場における性能確認写真の撮影及び編集方法について解説。 ●現地施工段階(搬入、据付) 機器等の据付(平面配置・据付高、垂直精度等)及び塗装、各種試験等の撮影方法、不可視部分(地中埋設、搬入車両、仮設備、安全設備等)撮影等、写真の管理に関する工夫について解説
	14:40 ~ 16:00	下水道機械設備の不具合事例、総合点検、試運転、完成検査指摘事項	機械設備工事の不具合及び不良事例とフィードバック(承諾図、施工図等への反映)、総合点検、試運転、完成検査時における指摘事項並びに重点課題について解説。
	16:10 ~ 17:30	効果測定	授業内容の理解度を測るため効果測定を行います。

13. 申し込み・問い合わせ先

「研修申込み書」を下記あて郵送又はFAXしてください。また、JSの機械設備工事を受注している建設会社の方は、研修申込み書の写しと「離席届」を、JS監督員に提出してください。

研修申込み書は当事業団ホームページからもダウンロードできます(<http://www.jswa.go.jp/>)。なお、本講座は、WEB登録フォームに対応しておりませんので、ご了承ください。

〒335-0037 埼玉県戸田市下笹目5141

日本下水道事業団 研修センター 研修企画課

TEL 048-421-2692 FAX 048-422-3326

※応募上のご注意もご覧ください。

※FAX送信のお間違えが大変増えております。送信の際は、今一度ご確認をお願いいたします。

下水道施設建設工事の品質向上に役立つ 処理場施設(電気設備)の施工管理の実務

全国土木施工管理技士会連合会継続教育「CPDS」プログラム認定

1. 研修対象者 ① JSの電気設備工事を受注しているメーカー等で、現場代理人、監理技術者、主任技術者等（以下『監理技術者等』という。）をお務めの方もしくはその予定の方。
② 現在、JSに登録されている電気設備工事の登録メーカー等において、監理技術者等の資格をお持ちの方。
2. 研修目標 品確法の施行に伴い、従来の価格競争型入札契約から、安全且つ品質の向上に係る技術提案を求める総合評価方式の導入が進む中、民間企業及び技術者の技術力が強く求められている。
本研修では、実績等に基づくJS独自のノウハウを提供することにより、良質な出来形及び施工管理に努め、質の高い工事目的物の完成を目指した施工管理技術を短期間で習得することを目的とする。
3. 研修内容 請負者に求められる工事目的物の品質、性能の向上はもちろんのこと施工計画書及び工事完成図書作成並びに施工管理写真の撮影及び編集等、広く細部に渡り技術知識等を習得するため、JSが独自に策定している仕様書及び施工指針等の内容及び改訂のポイント等について説明する。
更に、それらに基づく出来形管理、品質管理、安全管理、写真管理、段階確認、総合試運転等について、災害・事故、不具合等の事例を踏まえたフィードバックの方法や良質な施工例並びに完成検査等の指摘を踏まえた重点課題等についてわかりやすく解説する。
4. 実施時期 平成26年5月29日(木)～平成26年5月30日(金)
5. 実施期間 2日間
6. 募集人員 20名
7. 実施場所 日本下水道事業団 研修センター
埼玉県戸田市下笹目5141
8. 受講料 60,000円
費用につきましては、全て銀行振り込みとなります。(決定通知に請求書を同封)
9. 申込み期限 平成26年4月22日(火)
10. 修了書 効果測定を合格した方に、後日「修了書」と全国土木施工管理技士連合会継続教育プログラム(CPDS)受講証明書を交付します。
効果測定不合格者にはレポート提出を求め、再判定を行います。
11. 研修修了者の特典 ①研修修了者は「日本下水道事業団の参加資格申請書の技術者経歴書」に本研修を修了した旨を明記することが可能となります。
②工事施工年度もしくは契約年度前1年以内に、本研修を受講した者が現場代理人又は監理技術者として選任され、所定の要件を満足した場合、工事成績評定点の加点要素となります。

【留意事項】

- ①研修期間中、監理技術者が現場を離れることについて
建設業法においては、監理技術者等は、『専任(常駐)』することとされていますが、本研修は、JSの安全協議会活動の一環として実施するものであることなどから、本研修への参加が同法に抵触するものではありません。
なお、監理技術者等の現場離席期間中の安全管理体制及び施工監理体制等については、請負者の責任において行うこととし、事前に監督職員に「離席届」を提出願います。
- ②遠方の方は、当研修センターに宿泊が可能です。
- ③通勤による受講者は、別途550円/日の昼食代が必要となります。

12. カリキュラム

研修日	講義時間	教科名	内容
1 日 目	9:10 ~ 9:20	オリエンテーション	連絡事項
	9:30 ~ 11:00	JSの契約図書及び各種様式	契約図書の文書による甲乙確認項目(仕様、能力等)、一般仕様書共通事項と各種建設関連法規の解説、各種提出書類の解説
	11:10 ~ 12:40	下水道電気設備工事における安全衛生管理	一般仕様書に定める安全衛生管理及び防災計画と安衛法、電気設備工事における事故事例、現場に応じた施工段階毎の安全管理、部材並びに機材等の運搬、搬入及び搬出方式、安全を確保するための仮設備、安全教育、技術向上講習会、安全パトロール、事故時の対応について解説。瑕疵担保責任について解説
	13:30 ~ 15:00	下水道電気設備の出来形及び品質管理のポイント	品確法、JS一般仕様書及び施工管理指針の解説。電気設備の出来形又は品質の計測、集計等について解説
	15:10 ~ 17:00	下水道電気設備工事の段階確認及び検査と工程管理	搬入、据付・各種施工、試運転の各段階における材料・機器等の品質管理計画及び管理項目の設定、管理基準値、確認方法(臨場、電子メール等)、確認頻度等及び工程管理の方法について解説。
2 日 目	9:10 ~ 10:30	下水道電気設備の改築更新工事の留意点	電気設備の改築更新を行う場合、停電(全停電等)作業が付き物。既設設備の事前調査、維持管理サイドとの綿密な打ち合わせを行い、実態に即した作業計画、作業手順書等を作成する必要がある。具体的な事例により、留意点を解説。
	10:40 ~ 12:10	下水道電気設備工事の施工計画書の作成	各機器ごとの施工方法、品質管理、施工管理、写真管理、安全管理等及び改築更新工事の留意点(仮設計画、維持管理との調整など)及び施工計画書の作成に関する工夫について解説。
	13:00 ~ 14:30	下水道電気設備工事の写真管理	●工場製作段階における写真管理 機器承諾図に基づいた写真管理及び工場における性能確認写真の撮影及び編集方法について解説。 ●現地施工段階(搬入、据付) 機器等の据付(平面配置・据付高、垂直精度等)及び塗装、各種試験等の撮影方法、不可視部分(地中埋設、搬入車両、仮設備、安全設備等)撮影等、写真の管理に関する工夫について解説
	14:40 ~ 16:00	下水道電気設備の不具合事例、総合点検、試運転、完成検査指摘事項	電気設備工事の不具合及び不良事例とフィードバック(承諾図、施工図等への反映)、総合点検、試運転、完成検査時における指摘事項並びに重点課題について解説。
	16:10 ~ 17:30	効果測定	授業内容の理解度を測るため効果測定を行います。

13. 申し込み・問い合わせ先

「研修申込み書」を下記あて郵送又はFAXしてください。また、JSの電気設備工事を受注している建設会社の方は、研修申込み書の写しと「離席届」を、JS監督員に提出してください。

研修申込み書は当事業団ホームページからもダウンロードできます(<http://www.jswa.go.jp/>)。なお、本講座は、WEB登録フォームに対応しておりませんので、ご了承ください。

〒335-0037 埼玉県戸田市下笹目5141

日本下水道事業団 研修センター 研修企画課

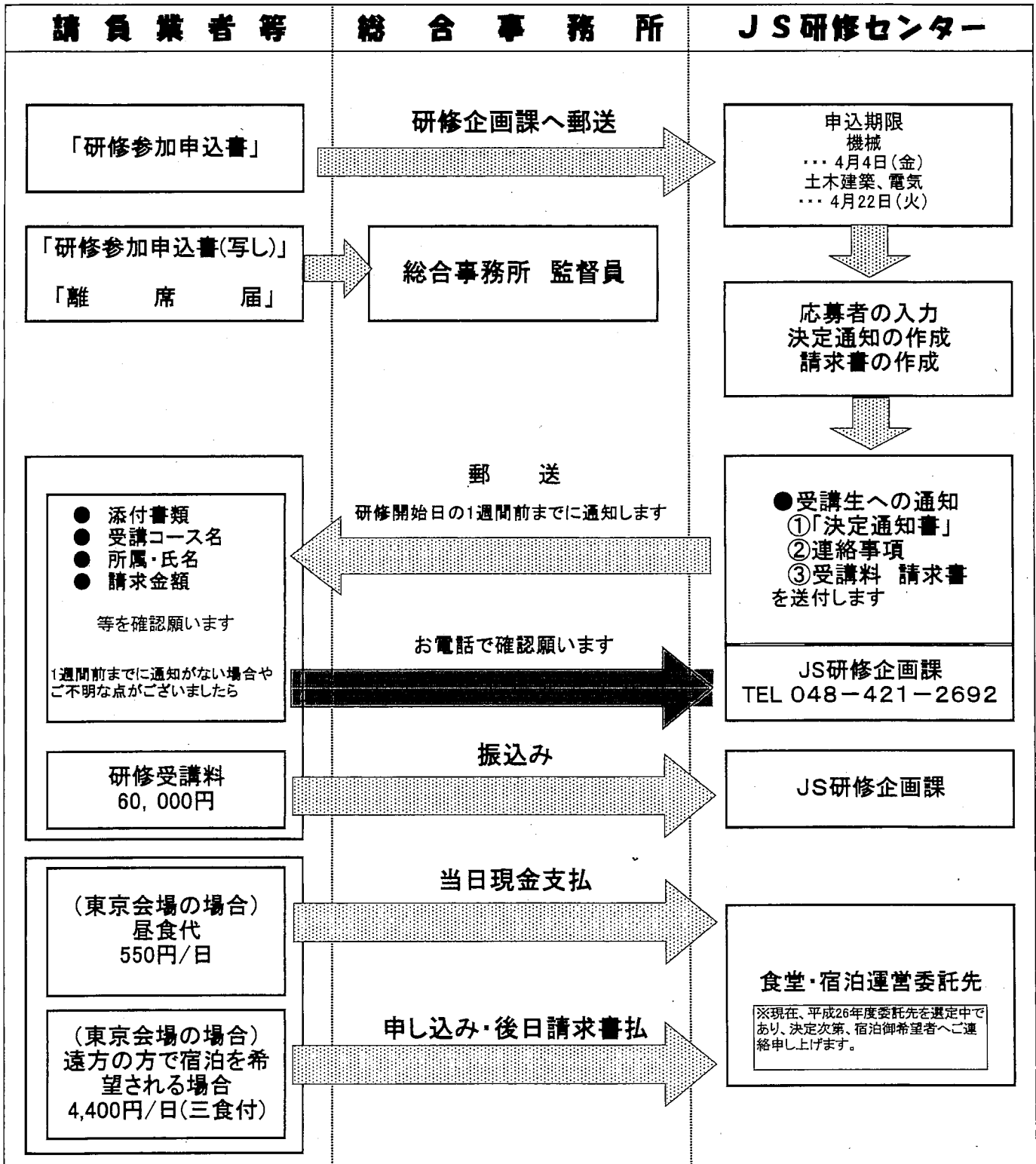
TEL 048-421-2692 FAX 048-422-3326

※応募上のご注意もご覧ください。

※FAX送信のお間違えが大変増えております。送信の際は、今一度ご確認をお願いいたします。

「処理場施設の施工管理の実務」研修申込みから参加までの流れ

処理場施設（土木建築）の施工管理の実務	6月5日（木）～6月6日（金）
処理場施設（機械設備）の施工管理の実務	【東京会場】 4月24日（木）～4月25日（金） 【大阪会場】 5月15日（木）～5月16日（金）
処理場施設（電気設備）の施工管理の実務	5月29日（木）～5月30日（金）



※宿泊費は、前泊・後泊の場合は1000円加算されます。

「処理場施設の施工管理の実務」 研修申込書（平成26年度）

専攻名 <small>参加会場に○を付けてください。</small>	民間技術者研修		処理場施設の施工管理の実務	
		土木建築	【東京会場】	平成26年6月 5日(木)～6月 6日(金)
		機 械	【東京会場】	平成26年4月24日(木)～4月25日(金)
		機 械	【大阪会場】	平成26年5月15日(木)～5月16日(金)
		電 気	【東京会場】	平成26年5月29日(木)～5月30日(金)

ふりがな		性別	男 女
氏 名			○で囲む

勤 務 先	会社名	支社、事務所等名称	現場事務所 ○ r 所属部課係名		
	職務内容				
	住 所	〒			
	TEL	()	FAX	()	
	E-mail				
夜間・休日緊急連絡先（自宅TEL等）					

注) 1. 電話番号は市外局番から記入する。

注) 2. ふりがなは必ず記入する。

年 度	所 属 経 歴 等
(例)	
平成○年度	○○県●●町 ■■浄化センター ●●工事 主任技術者
平成○年度	○○県●●市 ■■浄化センター ●●工事 監理技術者
平成○年度	○○県●●市 ■■浄化センター ●●工事 現場代理人

※	20	21～	26～	31～	36～	41～	46～	51～	56～	61～
年齢	以下	25	30	35	40	46	50	55	60	以上

※	大学院	大学	短大	高専	高校	他	専攻学科	土木	建築	機械	電気等	生物等	他	法経	下水道工学履修有無
最終学歴															

1. ※印欄は、該当する下部空欄に、枠からはみ出さないように○印をつけてください。

2. ※印欄の年齢は、研修受講日を基準に計算してください。

1. 下水道での実務経験（○で記入）	【 あり、なし 】
--------------------	-----------

この【研修申込書】にご記入の上、郵送で下記宛お申し込みください。

FAXも可としますが、FAX を送付される場合は、受領確認のため、必ず下記宛TEL願います。

なお、お手数ですが、同【研修申込書（写し）】及び別添【離席届】を監督員に提出願います。

〒335-0037 埼玉県戸田市下笹目5141 日本下水道事業団研修センター研修企画課

電話048-421-2692 FAX048-422-3326

※FAX送信のお間違えが大変増えております。送信の際は、今一度ご確認をお願いいたします。

※本表に記入していただいた個人情報、研修実施に係る資料の作成、宿泊施設運営等研修業務遂行のために使用するとともに、その他JS業務にも参考として利用させていただく場合があります。 処理場施設施工管理(申込書)

